

2025 年 11 月 27 日

報道関係各位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

H2O が地域共創によるサステナブルな社会を目指し

資源循環シンポジウム 2025「Tsugu.」を開催

—ともに創り、未来へつなぐ循環を—

Tsugu.

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社(本社:大阪市北区 代表取締役社長:荒木直也、以下 H2O)は 2025 年 12 月 5 日、昨年に続き 2 回目となる「資源循環シンポジウム 2025『Tsugu.』」を開催します。

当シンポジウムは、環境省「令和 6 年度補正予算 食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業等」の採択を受けた「地域共創型『食とわ』プロジェクト 2025: 生活者の行動変容を核とした食品ロス・食品廃棄物削減モデルの共創へ」の一環としての開催です。

今回は、「多様な人とともに創る資源循環」をテーマに、事業者や行政の担当者による講演と学生も交えたパネルディスカッションを通して、地域に根ざした資源循環の実践事例を紹介します。知見やノウハウを共有しながら、生活者の意識・行動の変容につながる取り組みのあり方を考える場を目指すとともに、参加者のネットワーク形成を図ります。

また今回、協賛企業として参加する株式会社高島屋(本社:大阪府大阪市中央区 代表取締役社長:村田善郎、以下、高島屋)は、H2O 傘下の株式会社阪急阪神百貨店(本社:大阪市北区 代表取締役社長:山口俊比古)と従来の業務提携を量的から質的な取り組みへさらに深化させるとともに、すべての人々が豊かに暮らすことができる持続可能な社会の実現に向け、社会課題解決と事業成長との両立を図るESG経営を推進しています。今回は、その一環として本シンポジウム内で、高島屋グループのサステナブルライフスタイル 提案活動「TSUNAGU ACTION」の取り組みを紹介いただきます。

名 称: 資源循環シンポジウム 2025「Tsugu.」(つぐ) —ともに創り、未来へつなぐ循環を—

日 時: 12 月 5 日(金) 午後 2 時～5 時

場 所: Blooming Camp 大阪市北区大深町 6-38 グラングリーン大阪北館 JAM BASE 3 階

主 催: エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

協 賛: 株式会社高島屋 株式会社阪急阪神百貨店

協 力: 大阪府 The Consumer Goods Forum(コンシューマー・グッズ・フォーラム)

後 援: 環境省

対 象 者: 資源循環、廃棄物削減に向けた生活者や事業者との協働に興味・関心がある方

定 員: 会場 80 名 ※Zoom によるライブ配信も実施(アーカイブ配信はございません)

*要予約 *入場無料

(2 枚目に続く)

〈ご予約〉

右記の二次元コードのご利用、または以下のメールアドレス宛に、
お名前・ご所属・参加方法(会場またはライブ配信)を記載のうえお申し込みください。

2025shigenjunkan@gmail.com (運営委託会社:株式会社ブロックス)

締め切り: 12月2日(火)



〈お問い合わせ〉

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 経営企画グループ サステナビリティ推進室

sustainability@h2o-retailing.co.jp

※報道関係者の方は、下欄に記載の問い合わせ先までご連絡くださいませ

〈プログラム〉

開会挨拶

基調講演 循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行に向けて

講演 地域・生活者と「共創」する資源循環アクション ―H2O「Tsugu.」が育む共感の輪

講演 高島屋グループ サステナブルライフスタイル提案活動 ―TSUNAGU ACTION―
お客様・お取引先様・地域社会とともに

講演 大阪府公民戦略連携デスクの取り組みについて

パネルディスカッション 人と資源の循環 ―ともに変わる関係をどう育むか―

講演 生活者と創る脱炭素アクション ―宝塚モデルの事例より―

本件に関する報道関係者のお問い合わせ

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 メディアリレーション部 TEL 06-6367-3181



ともに創り、未来へつなぐ循環を

資源循環 シンポジウム 2025

Tsugu.

本シンポジウムは、環境省「令和6年度補正予算 食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業等」の採択を受けた「地域共創型『食とわ』プロジェクト 2025：生活者の行動変容を核とした食品ロス・食品廃棄物削減モデルの共創へ」の一環として開催します。

資源循環社会を実現するには、事業者や行政の取り組みだけではなく、生活者一人ひとりが日々の暮らしの中で意識し、考え、行動することが欠かせません。このシンポジウムのテーマは「多様な人とともに創る資源循環」。

さまざまなプレーヤーたちがどのように共創の関係を築き、取り組んできたのか……講演やパネルディスカッションを通して、具体的な事例や声をご紹介します。

新たなアクションを起こすヒントや、一緒に取り組む仲間を探してみませんか？

2025.12.5 金 午後2時-5時

Blooming Camp

※要予約 ※参加無料

大阪市北区大深町6-38 グラングリーン大阪北館 3階

主 催： エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
協 賛： 株式会社高島屋 株式会社阪急阪神百貨店
協 力： 大阪府 The Consumer Goods Forum（コンシューマー・グッズ・フォーラム）
後 援： 環境省
定 員： 会場 80名 ※Zoomによるライブ配信も実施（アーカイブ配信はございません）
プログラム： くわしい内容は裏面をご参照ください

ご予約

右記の二次元コードのご利用、または下記のメールアドレス宛に、お名前・ご所属・参加方法（会場またはライブ配信）を記載のうえお申し込みください。

2025shigenjunkan@gmail.com （運営委託会社：株式会社ブロックス）

締 め 切 り：12月2日(火)



〈お問い合わせ〉 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

経営企画グループ サステナビリティ推進室 sustainability@h2o-retailing.co.jp

わたしたちが暮らす地球環境を未来につなげる「資源循環型社会」。この社会への移行には、事業者や行政だけでなく、わたしたち生活者一人ひとりが考え、意識し、行動していくことがとても重要です。

昨年度のシンポジウムでは、「地域とともに実現する資源循環」をテーマに、地域に根差した具体的な実践事例やノウハウの紹介、有識者によるその価値の可視化にチャレンジしました。なかでも、実際にコンポストに取り組む生活者から示唆された「日々の小さな行動が社会貢献につながる喜び」「活動の楽しさが継続へのモチベーション」という声は、参加者の皆さんにとって大きな気づきとなりました。

本年度のシンポジウムは、その学びを基盤とし、多様なステークホルダーの協力と連携を通して、生活者の視点に立った実践的な資源循環のあり方や、行動していくための具体的なアクションを考える場を目指します。

そして前回に引き続き、これらを支える新たなパートナーシップやプロジェクト創出の機会にしたいと考えています。

プログラム

14:00 主催者あいさつ

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 代表取締役社長 荒木 直也

来賓あいさつ

環境省 近畿地方環境事務所 次長 山根 正慎氏

14:10 基調講演 循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行に向けて

環境省 資源循環課 地域資源循環企画官 金子 浩明氏

14:30 講演 地域・生活者と「共創」する資源循環アクション —— H2O「Tsugu.」が育む共感の輪 ——

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 経営企画グループ サステナビリティ推進室 室長 西田 哲也

14:50 講演 高島屋グループ サステナブルライフスタイル提案活動 —— TSUNAGU ACTION —— お客様・お取引先様・地域社会とともに

株式会社高島屋 経営企画部 ESG推進室 室長 笠原 理恵氏

15:10 講演 大阪府公民戦略連携デスクの取り組みについて

大阪府 公民戦略連携デスク 参事 浅倉 圭司氏

15:20 休憩

15:30 パネルディスカッション

人と資源の循環 —— ともに変わる関係をどう育むか ——

【モデレーター】

株式会社honshoku 代表取締役社長／一般社団法人フードサルベージ 代表理事 平井 巧氏

【パネリスト】

株式会社高島屋 営業企画部 中谷 宗樹氏

大阪府 環境農林水産部 流通対策室 ブランド戦略推進課 竹内 麻里子氏

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 経営企画グループ サステナビリティ推進室 中嶋 美和子

武庫川女子大学 滝本 響心氏

大阪公立大学 山下 紀香氏

16:10 講演 生活者と創る脱炭素アクション —— 宝塚モデルの事例より ——

The Consumer Goods Forum Climate Transition Local Group ステアリングコミッティ 議長

サントリーホールディングス株式会社 サステナビリティ経営推進本部 シニアアドバイザー

北村 暢康氏

16:30 閉会あいさつ

叡啓大学 副学長・学部長・特任教授／神戸大学 名誉教授 石川 雅紀氏

16:40 交流会 会場ならではのネットワーキングにぜひご参加ください（ライブ配信は閉会あいさつまで）